

全国産業安全衛生大会

大会テーマ 大地にみなぎる 安全・健康 決意の力

参加案内書



2026年

開催期間

9月16日水 → 18日金

オンライン限定プログラム視聴期間：2026年9月16日(水)～10月2日(金)
 ※現地開催プログラムとは異なる内容です。現地開催プログラムの配信は行いません

会場

総合集会 (9月16日)
 北海きたえーる (北海道立総合体育センター)
 分科会 (9月17日、18日)
 札幌コンベンションセンター ほか (北海道札幌市)

新料金

参加費

一般：1名 18,700円(税込) / 中災防賛助会員：1名 9,350円(税込)
 賛助会員加入回数1口につき1名適用

同時開催

緑十字展2026 つどーむ (札幌市スポーツ交流施設)



セコマ流サプライチェーンで解決!!

総合集会 特別講演

「人口減少、高齢化と向き合う経営」

株式会社セコマ
 取締役会長

丸谷 智保 氏

【主催】 中央労働災害防止協会
 【協力】 公益社団法人北海道労働基準協会連合会
 【協賛】 各都道府県労働基準協会(連合会)、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会
 【後援】 厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、ILO駐日事務所、北海道、札幌市、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、北海道経済連合会、札幌商工会議所、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、一般社団法人北海道建設業協会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、公益社団法人日本保安用品協会、日本労働組合総連合会北海道連合会、一般社団法人北海道医師会、北海道社会保険労務士会、一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部、一般社団法人北海道警備業協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部 (順不同/予定、申請中含む)

全ての働く人々に安全・健康を ~ Safe Work, Safe Life ~

JISHA 中災防
 Japan Industrial Safety & Health Association



中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課
 TEL: 03-3452-6402 <https://www.jisha.or.jp/event/taikai/>

職場における飲料の **熱中症対策** ならサントリー

自販機DXで、
飲料配布まるごと効率化!

手間なく
飲料配布

配布本数
制御可能

従業員利用実績
可視化



カードタッチで
従業員が飲料を
取り出せる!

熱中症対策DX自販機



豊富なラインナップ

法人専用
熱中症対策飲料

カロリー 0kcal/本

鉄分 2.6mg/本

ナイアシン 11mg/本



公式サイトはこちら



SUNTORY

熱中症対策 サントリー

検索

化学物質対策

ガス対策に
ぴったりを選ぶ

作業者にぴったり合うマスクが見つかる

- 1 ガス濃度に応じて選べる防護性能
- 2 顔にフィットしやすい設計
- 3 作業性を損なわない使いやすい機能



指定防護係数10

フィットチェッカー内蔵
半面形防毒マスク

R-5



指定防護係数300

呼吸に追従する送風で息苦しさ解消
半面形G-PAPR

BL-351HGX



指定防護係数1000

防護性能と広い視野を両立
全面形G-PAPR

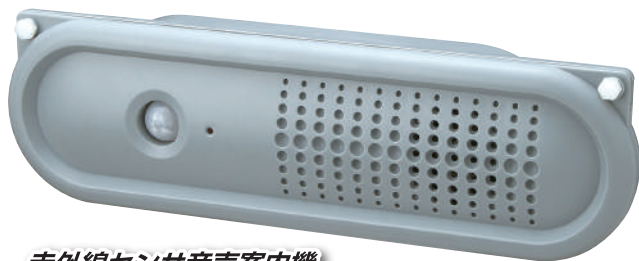
BL-711HG

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に



興研株式会社

〒102-8459東京都千代田区四番町7
TEL.03-5276-1911 (大代表)



赤外線センサ音声案内機

トークナビII

881-86

人が近づくと赤外線センサが検知し、メッセージを伝えます。

電源のない所でも乾電池のみで使用可能。

メッセージを自由に録音・再生。

防雨構造。屋外でも設置可能。(乾電池使用時)

最大10秒の録音が可能!!

足元にご注意ください

足もと注意 WATCH YOUR STEP

効果をも高める専用表示板!!

足元にご注意ください

足もと注意 WATCH YOUR STEP

赤外線センサで音声が流れます!!

UNIT ユニット株式会社

カタログのご請求・最寄りの代理店については、TEL 0120-490336 Mail sien@unit-signs.co.jp
右記へお問い合わせ下さい。 FAX 0120-490173 Web www.unit-signs.co.jp

第85回（令和8年度）全国産業安全衛生大会のご案内

本年度の全国産業安全衛生大会は、「大地にみなぎる 安全・健康 決意の力」をテーマに、18年ぶりに北海道札幌市にて開催いたします。 ※2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地開催中止。

大会初日は総合集会として、北海きたえーるにて、労働安全衛生水準の向上に寄与された功績者に対する表彰式や、特別講演を行います。2・3日目には分科会として、札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター・カナモトホールを使用して、リスクアセスメント・DX・ダイバーシティなどをテーマに、事業場の皆様による研究発表、安全衛生の専門家による講演・パネルディスカッション等、充実したプログラムを提供いたします。

また、令和8年度は、広大な土地と豊かな自然を活かした北海道ならではの産業（農業、畜産業、食料品製造業等）における労働災害防止についてのプログラムをご用意した、「食を支える産業の安全を考える分科会」を設置いたします。

さらに、本大会期間中3日間、つどーむにて、最新の安全衛生保護具、機器等を展示する緑十字展2026を開催いたします。

全国からたくさんの方々のご参加をお待ちしております。

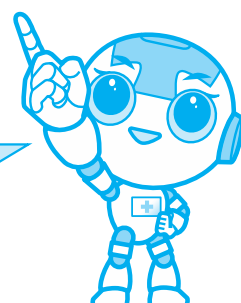
目次 総合集会、分科会の構成

総合集会、分科会名	日程	会場	地図No. <small>(2~3ページ参照)</small>
総合集会	9/16 (水)	北海きたえーる メインアリーナ	1
安全管理活動分科会①	9/17,18 (木、金)	札幌コンベンションセンター 大ホールA	2
安全衛生教育分科会	9/17,18 (木、金)	札幌コンベンションセンター 大ホールB	2
化学物質管理活動分科会	9/17 (木)	札幌コンベンションセンター 特別会議場	2
労働衛生管理活動分科会	9/18 (金)	札幌コンベンションセンター 特別会議場	2
マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	9/17,18 (木、金)	札幌コンベンションセンター 中ホール	2
ダイバーシティ等分科会	9/18 (金)	札幌コンベンションセンター 中ホール	2
機械・設備等の安全分科会	9/17 (木)	札幌コンベンションセンター 小ホール	2
DX等分科会	9/18 (金)	札幌コンベンションセンター 小ホール	2
食を支える産業の安全を考える分科会	9/17 (木)	札幌コンベンションセンター 107 & 108 会議室	2
安全管理活動分科会②	9/18 (金)	札幌コンベンションセンター 107 & 108 会議室	2
ゼロ災運動分科会	9/17 (木)	札幌市産業振興センター 体育実習室	3
交通安全分科会	9/17 (木)	札幌市産業振興センター 体育実習室	3
安全管理活動分科会③	9/18 (金)	札幌市産業振興センター 体育実習室	3
メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会	9/17,18 (木、金)	カナモトホール 大ホール	4

お申込み (5月12日 受付開始) は特設ウェブサイトから行えます！

大会参加のお申込みは特設ウェブサイトからが便利です。右のQRコードから、もしくは中災防ホームページ トップページのバナーリンクからアクセスください。

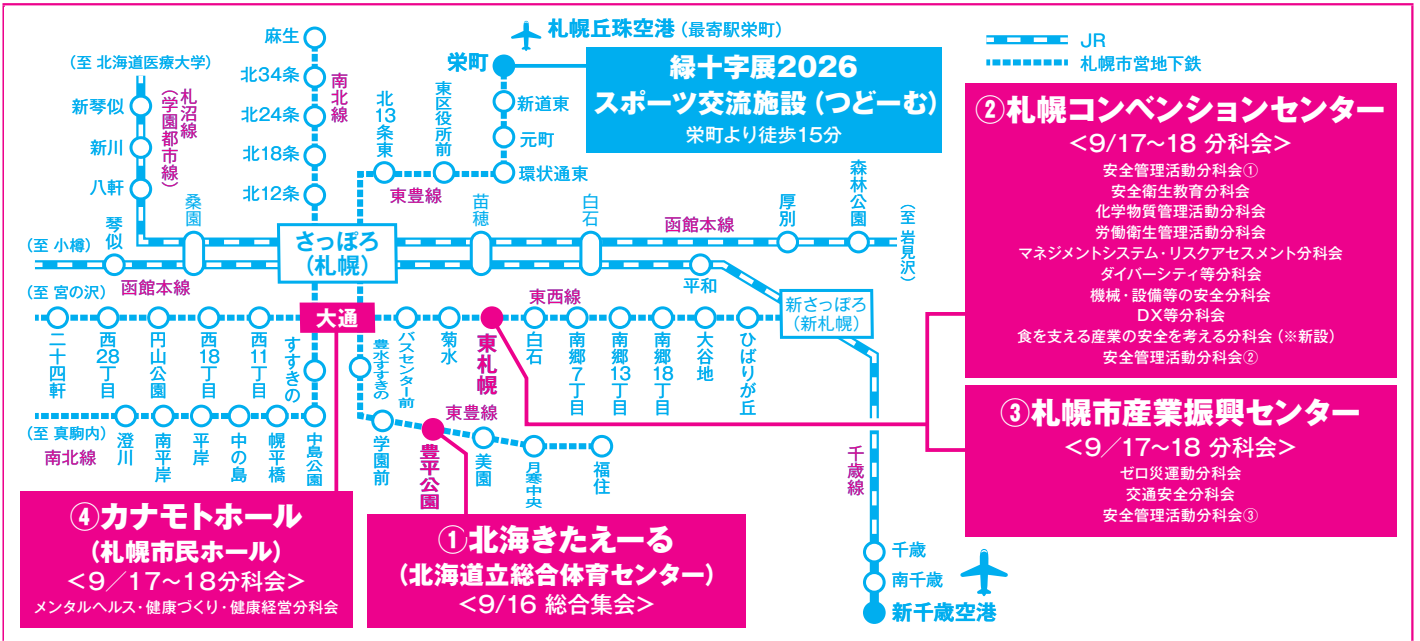
●特設ウェブサイト：<https://jisha-taikai2026.com/>



※ 本案内書に掲載の情報(会場等)や、研究発表者の演題名、所属、役職名等は2026年4月上旬時点のものです。
各記載内容は追って変更になる場合があります。最新情報は特設ウェブサイト (<https://jisha-taikai2026.com/>) をご確認ください。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

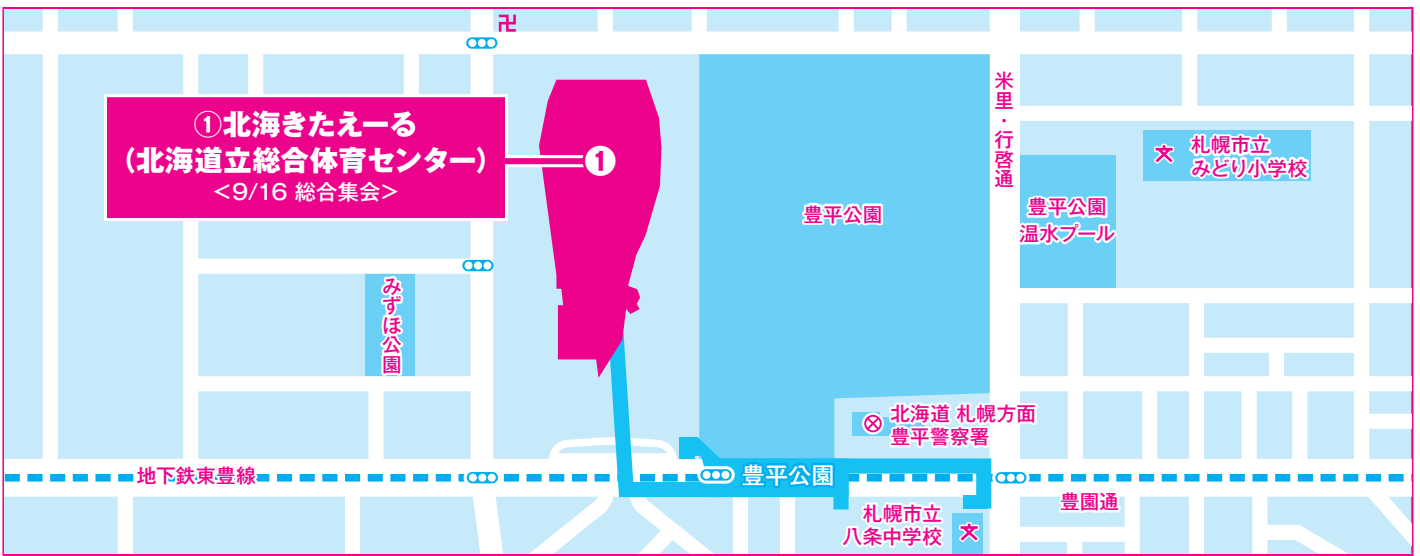
第85回(令和8年度)全国産業安全衛生大会 開催概要・アクセス

各会場 全体図



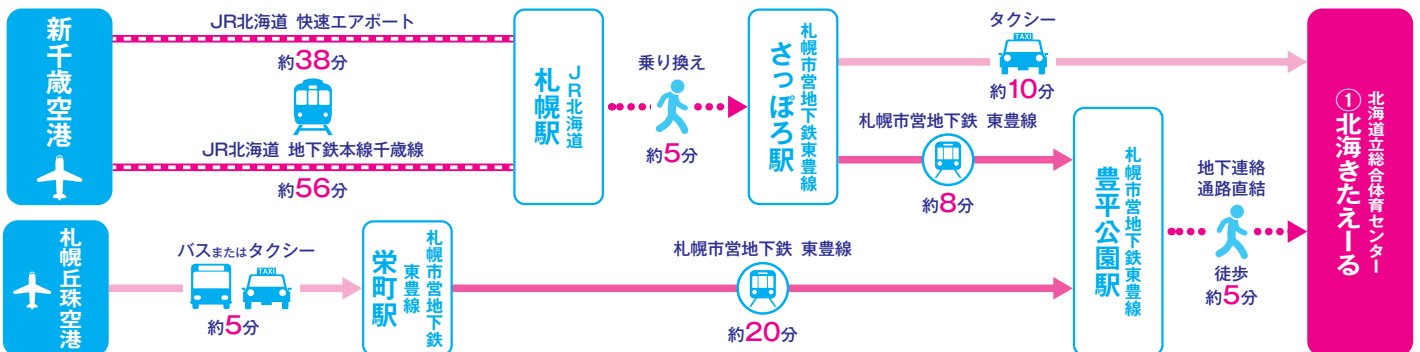
総合集会 会場 周辺図・アクセス

① 北海きたえーる (北海道立総合体育センター)



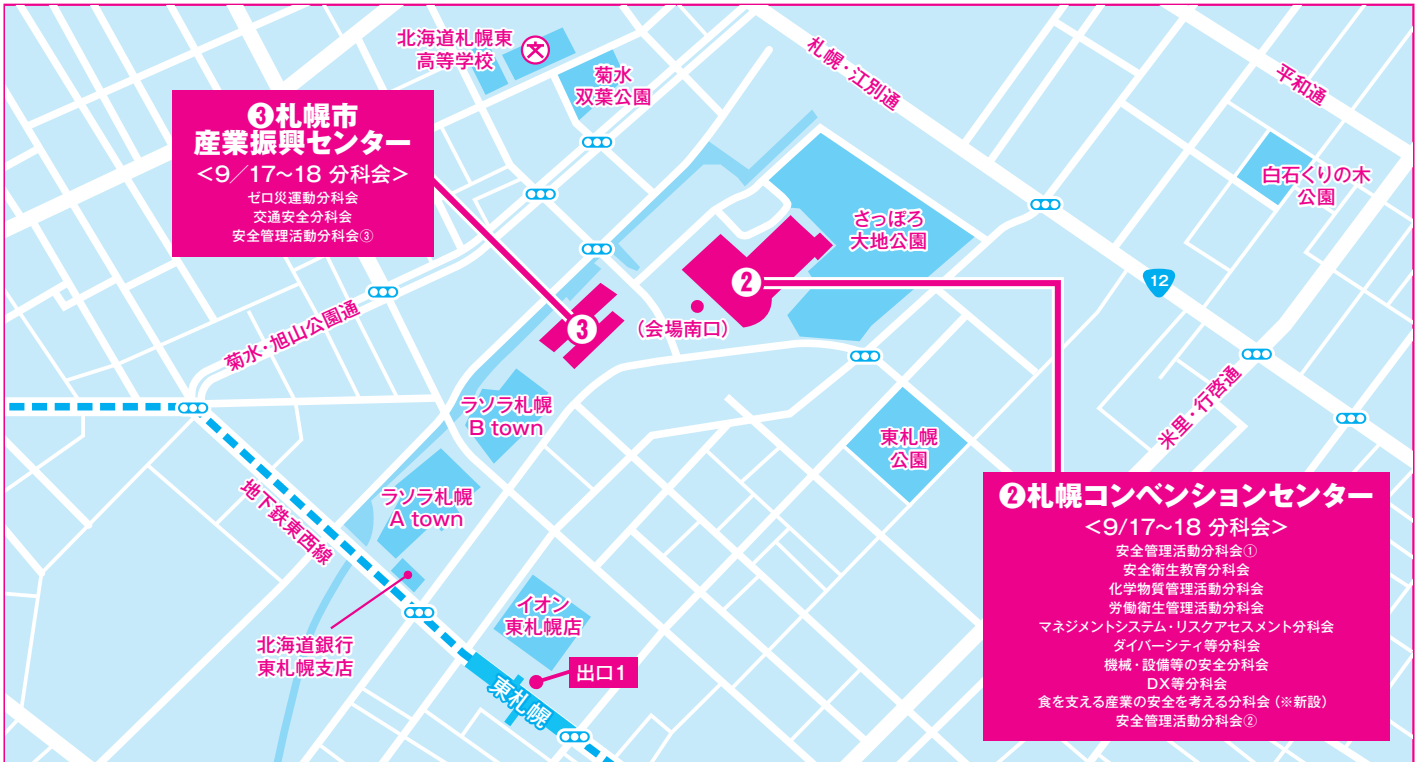
① 北海きたえーる 地下鉄東豊線「豊平公園駅」地下連絡通路より徒歩5分

公共交通機関でお越しのお客様



各分科会 会場 周辺図・アクセス

② 札幌コンベンションセンター / ③ 札幌市産業振興センター

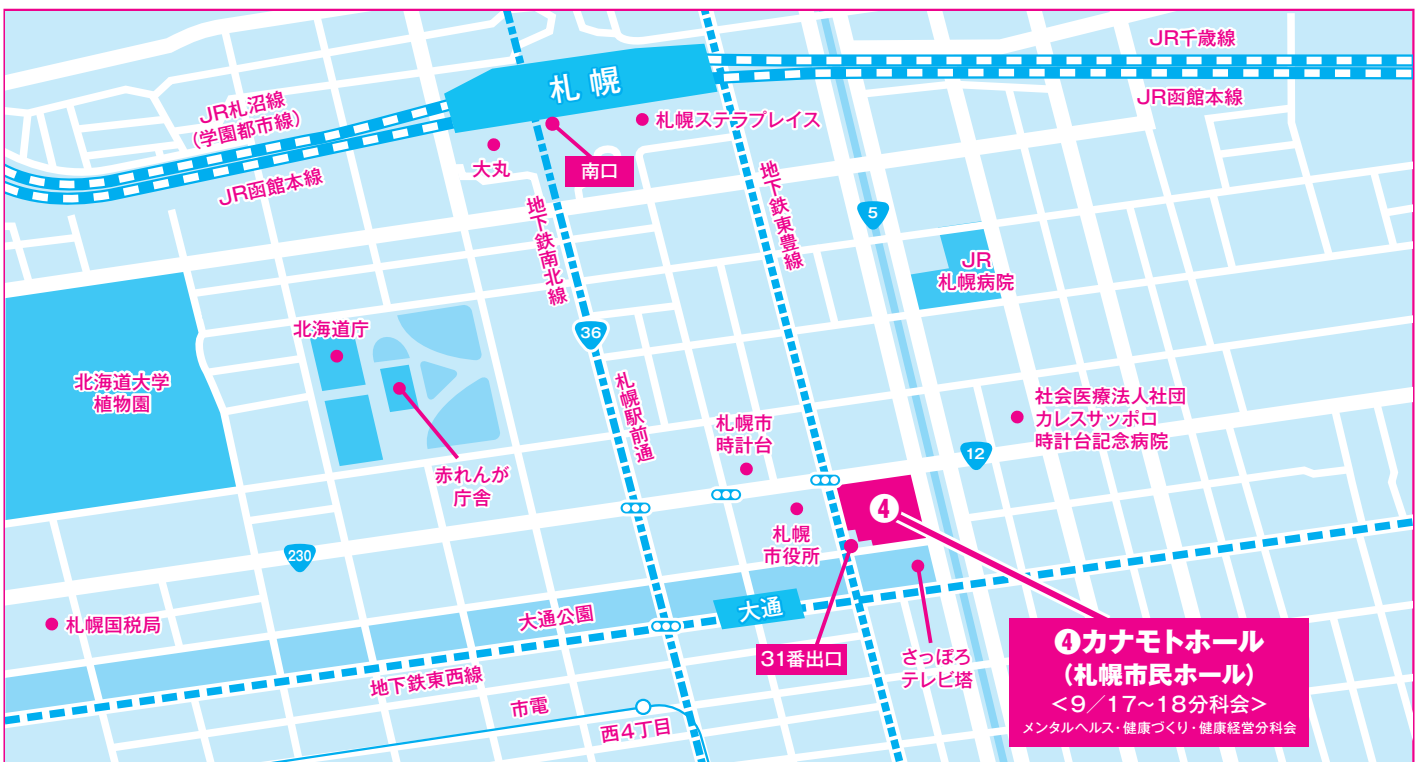


② 札幌コンベンションセンター 地下鉄東西線「東札幌駅」1番出口より徒歩8分

③ 札幌市産業振興センター 地下鉄東西線「東札幌駅」1番出口より徒歩7分

※②札幌コンベンションセンターと③札幌市産業振興センターの間は徒歩約1分

各分科会 会場 周辺図・アクセス ④ カナモトホール



④ カナモトホール 地下鉄東西線・南北線・東豊線「大通駅」31番出口正面

交通・会場等に関するご案内

●駐車場

各会場に駐車場はご用意しておりません。
路面電車・バス等の公共交通機関やタクシーをご利用ください。

●喫煙について

・総合集会(9/16)会場および分科会(9/17、18)各会場は敷地内全面禁煙です。

●クローク・コインロッカー

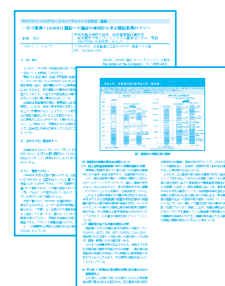
各会場にクロークはございません。また、各会場内のコインロッカーは数に限りがあります。キャリーケースやボストンバッグ等のお荷物は、駅・バスセンター等のコインロッカーや、宿泊されるホテル等にお預けいただくことをお勧めいたします。なお、会場は階段移動の多い施設となっておりますので、キャリーケースを持つての移動には十分ご注意ください。

●飲食の環境

・総合集会(9/16)会場では、弁当販売やレストラン営業の予定はありません。
・分科会(9/17、18)の各会場周辺は、飲食店やコンビニが限られているエリアですのでご注意ください。なお、弁当販売の予定はございません。

●「研究発表集」の公開

参加者の方は、各発表・講演等の要点を文章にまとめた「研究発表集」を、PDFデータでダウンロードいただけます。PDFデータの公開は特設ウェブサイトにて、8月下旬ごろから10月下旬までを予定しております。大会参加前の予習や、終了後の復習等にご活用ください。(なお、冊子でのご用意・会場配布はございません)



●参加者特典について

参加者限定の特典を予定しております。
詳細につきましては、決まり次第、順次特設ウェブサイトにてご案内いたします。

●その他

他の参加者や発表者に対し、会場内で営業行為や勧誘行為を行うことは固く禁じます。

●緑十字展2026～働く人の安心づくりフェア～

開催期間：2026年9月16日(水)～18日(金)

会 場：つどーむ(札幌市スポーツ交流施設)

入 場 料：無料(特設サイトでの事前登録制)

展示内容：職場の安全・健康・快適にかかる機械・器具や技術・情報等

特別企画(予定)：「安全衛生保護具体験道場」

「北海道ヒートバリア2026ー職場の熱中症対策最前線ー」

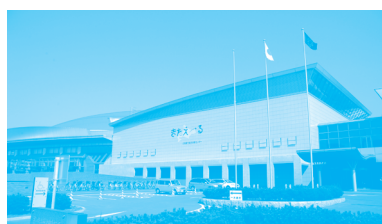
「農業！林業！水産業！まるごと安全対策ゾーン～獣害、氷雪対策も！～」

緑十字展2026
特設サイト

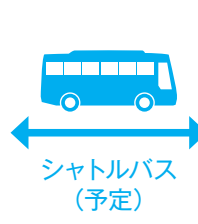


●緑十字展2026へのアクセス

全国産業安全衛生大会の一部会場と、緑十字展2026の会場との間で、シャトルバスを運行する予定です。詳細が決まり次第、特設ウェブサイトにてご案内いたします。



全国産業安全衛生大会 会場



緑十字展2026 会場

総合集会 プログラム

日時 令和8年9月16日(水) 13:15~17:00 (開場 11:30)

会場 北海きたえーる (北海道立総合体育センター)

(札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号)

第1部

■ 開 場	11:30	
■ 開 会 式	13:15~14:00	国歌斉唱 黙 禱 開会の辞 中央労働災害防止協会副会長 大会式辞 中央労働災害防止協会会長 祝 辞 厚生労働大臣 祝 辞 スポーツ庁長官 祝 辞 北海道知事 祝 辞 札幌市長 挨 拶 公益社団法人 北海道労働基準協会連合会会長
■ 表 彰 式	14:00~14:25	中災防会長賞表彰、顕功賞表彰、緑十字賞表彰
■ 大会宣言	14:25~14:35	

《休 憩》

第2部

■ 講 演	14:50~15:20	厚生労働省 労働基準局
■ 中間体操	15:20~15:30	中災防ヘルスケア・トレーナー
■ 特別講演	15:30~17:00	株式会社セコマ 取締役会長 丸谷 智保 氏

総合集会 特別講演



「人口減少、高齢化と向き合う経営」

株式会社セコマ 取締役会長 **丸谷 智保 氏**

コンビニエンスストア「セイコーマート」を展開するセコマグループは、北海道を中心に独自のサプライチェーンを構築し、原材料の生産・調達から食品製造、物流、小売を効率的・効果的に結びつけることで、地域産品を積極的に活用した商品開発・製造を担い流通チャネルを道内外に拡大している。私たちがなぜ地域にこだわるのか、そして地域と共に歩み事業活動を通じて社会的な課題解決に取り組むことがブランド化と価値創造につながっていることを具体的事例と共に紹介する。

【プロフィール】慶應義塾大学 法学部 卒業。1979年、株式会社北海道拓殖銀行に入行。1997年5月には同社営業企画部次長を務める。1998年10月、シティバンク、エヌ・エイに入行し、2005年11月には顧客・人材開発本部本部長に就任。2007年3月、株式会社セイコーマート(現 株式会社セコマ)に入社。同年6月専務取締役、2008年3月取締役副社長を経て、2009年3月より代表取締役社長として経営を牽引した。2020年4月、同社代表取締役会長に就任。2025年3月からは同取締役会長(現職)を務める。現在は北海道経済同友会 代表幹事、北海道経済連合会 常任理事、北海道EU協会 会長、在札幌スペイン王国名誉領事も兼任。

未来を読んでいる。
未来が呼んでいる。

おかげさまで
創刊110周年














日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

金型業界の最新ニュースを配信中!



株式会社金型新聞社



〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-2-21 銀泉阿波座ビル 4F
TEL:06-6541-5900

分科会 会場	機械・設備等の安全	食を支える産業の安全を考える	ゼロ災運動/交通安全	メンタルヘルス・健康づくり・健康経営
	札幌コンベンションセンター 小ホール	札幌コンベンションセンター 107&108会議室	札幌市産業振興センター 体育実習室	カナモトホール 大ホール
開場時間:各会場とも 9:00 (プログラム開始は9:30)				
9:30	9:30 ①重機昇降時の転落防止対策について (株)大林組 北電苦東造成工事事務所	9:30 ①若手にも響く! 共創型安全研修という新たなカタチ (株)明治	9:30 ①現場力を引き出せ! 管理者と作業者が共に挑んだSKYIT改革への軌跡 (株)北川鉄工所	9:30 ①女性特有の健康課題への支援 〜アンケート結果を踏まえた検討〜 中国電力(株) 鳥取支社
10:00	9:50 ②浸漬はんだ付装置 酸化物除去改善 〜もっと良い環境をもっと良い未来の為に〜 (株)デンソー 幸田製作所 10:10 ③機械設備導入・更新時の安全評価見直しについて 川崎重工業(株) 西神戸工場	9:50 ②入社2年未満対象! 現場現物にこだわった安全教育で労災ゼロを目指す! 有楽製菓(株) 豊橋夢工場 10:10 ③労働安全衛生法規等に基づく教育の内製 化のコツ よつ葉乳業(株) 安全管理部	9:50 ②形骸化した安全衛生活動を、トップダウンとボトムアップの両輪で再生を目指す。 (株)富士ロジックホールディングス 10:10 ③みんな一緒に育てる気になる樹! 咲かせよう、みんなの和、目指せ労災ゼロ 京浜急行電鉄(株) 鉄道本部 運輸営業部 上大岡駅	9:50 特別報告 人財戦略としてのプレコンセプションケア 〜若年層の健康課題を見据えて〜 (株)JUNOKU 代表取締役 日本産業衛生学会専門医・ 指導医 産業医科大学医学部衛生学非常勤講師 長井聡恵 
10:30	10:30 ④人はミスすることを前提で考えた吊り上げ 運搬の安全対策 ダイキン工業(株) 淀川製作所 10:50 休憩	10:30 ④千歳近隣企業安全交流会の企画と実施 キリンビール(株) 北海道千歳工場 10:50 休憩	10:30 ④「自分の命は自分が守る、仲間の命も自分が守る」行動で楽しく安全風土 (株)エヌ・ティ・ティ・エムイー 10:50 休憩	10:20 ②従業員の喫煙率低下に向けた各種施策の 取組み ほくでんサービス(株) 10:40 ③ポジティブ心理学に基づくポジティブメン タルヘルス施策の推進について 中部電力(株)
11:00	11:00 講演 ロボットと機械安全  名古屋大学 名誉教授 山田陽滋	11:00 ⑤2本立ての労働安全衛生管理体制による 働く職場の安全・安心の実現 山崎製パン(株) 札幌工場 11:20 ⑥水産加工食品業における安全管理活動(初 歩的) (株)阿部長商店 大船渡食品 11:40 特別報告 機器導入から始める「労災ゼロ」 の工場経営 石屋製菓(株) 取締役 柳澤和宏 	11:00 ⑤ゼロ災達成に向けた取組事例 日本車輛製造(株) 11:20 ⑥3年間の軌跡 〜ヘヤリ・ハットで見つけた意外な事実〜 マンパワーセキュリティ(株) 11:40 ⑦他者の労災をわがごとへ 被災社員インタビュー「業務災害 生の声」 (株)グリーンテック	11:00 休憩 11:10 ④からだ機能チェックにおける従業員の健康 維持改善取組み (株)本田技術研究所 11:30 ⑤メンタルヘルス対策における多職種連携の 重要性 中外製薬工業(株) 藤枝工場 11:50 ⑥製造業における管理栄養士が取り組む健 康経営 トヨタ自動車北海道(株)
11:30	休憩50分	12:00 休憩60分	12:00 特別報告 運動展望 中央労働災害防止協会 12:30 休憩50分	12:10 休憩50分
12:00	12:00 休憩50分	12:10 休憩60分	12:00 特別報告 運動展望 中央労働災害防止協会 12:30 休憩50分	12:10 休憩50分
12:30	12:50 第2回機械安全推進表彰式 安全エキスパート育成で切り拓く既存機械安 全化と休業度数率低減の実現 日本精工(株) 安全確認型システム導入と動力源遮断活動 の展開 日本軽金属(株) 食品生産機械の安全設計におけるグローバ ルスタンダードを目指す レオン自動車(株)	13:10 シンポジウム 未来へつなぐ農業と農作業安全 基調講演 農作業安全の推進に関する取り組みについて 農林水産省 パネルディスカッション 農業ジャーナリスト/フリーアナウンサー JAオホーツク網走青年部 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 (株)Kalm角山	13:20 ⑧確実な情報展開が安全活動に繋がった (株)東研サモテック 橋本工場 13:40 ⑨油断による危険を無くしゼロ災害を目指す 有楽製菓(株) 札幌工場 14:00 ⑩タツタ電線グループ横断の災害ゼロ化活動 について タツタ電線(株) 14:20 ⑪安全衛生講習機関におけるゼロ災活動の 取組み(転倒災害防止講習の実現) (公社)神奈川労働安全衛生協会 小田原支部	13:00 ⑦ストレスチェック活用を通じたラインケア 強化の取組み コニカミノルタ(株) 13:20 ⑧中小規模事業場で取組む健康経営10年 「働きたいと思う年齢まで働ける職場づくり」 (株)オノモリ 13:40 ⑨「通訳的介入」による相互理解と安定就労 〜対話と連携による組織的支援〜 北海道瓦斯(株) 14:00 ⑩プレゼンティーズム低減に向けた睡眠対策 の推進「睡眠改革、始動」 JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)
13:00	14:00 休憩	14:40 休憩	14:00 ⑪安全衛生講習機関におけるゼロ災活動の 取組み(転倒災害防止講習の実現) (公社)神奈川労働安全衛生協会 小田原支部 交通安全分科会 14:40 ①優良乗務員育成プロジェクトの取組みにつ いて 名糖運輸(株) 15:00 ②安全運転マスタープログラムの取組みにつ いて 東日本旅客鉄道(株) 長野支社 15:20 休憩 ゼロ災運動分科会 15:30 表彰式 15:50 休憩	14:20 休憩 14:30 講演 なぜあの人は行動しない? 〜ナッジで望ましい行動へと促す〜  青森大学 社会学部 客員教授 竹林正樹
13:30	14:10 ⑤コンテナ扉固定治具の開発と安全対策強 化による再発防止の取組み (株)NAAフアンリテイズ 14:30 ⑥ポジティブ安全学に基づいた安全・安心の 定量評価に関する研究 ジー・オー・ピー(株) 14:50 ⑦特高接続部エックス線検査の安全性向上 に向けた研究 東海旅客鉄道(株) 新幹線鉄道事業本部 浜松工場 15:10 ⑧焼却灰コンベア脱輪復旧作業解消の取 組み J&T環境(株)	14:50 講演 スマート農業と食料安全生産の実現に向けた 研究紹介 	14:20 ⑪安全衛生講習機関におけるゼロ災活動の 取組み(転倒災害防止講習の実現) (公社)神奈川労働安全衛生協会 小田原支部 交通安全分科会 14:40 ①優良乗務員育成プロジェクトの取組みにつ いて 名糖運輸(株) 15:00 ②安全運転マスタープログラムの取組みにつ いて 東日本旅客鉄道(株) 長野支社 15:20 休憩 ゼロ災運動分科会 15:30 表彰式 15:50 休憩	14:20 休憩 14:30 講演 なぜあの人は行動しない? 〜ナッジで望ましい行動へと促す〜  青森大学 社会学部 客員教授 竹林正樹
14:00	14:10 ⑤コンテナ扉固定治具の開発と安全対策強 化による再発防止の取組み (株)NAAフアンリテイズ 14:30 ⑥ポジティブ安全学に基づいた安全・安心の 定量評価に関する研究 ジー・オー・ピー(株) 14:50 ⑦特高接続部エックス線検査の安全性向上 に向けた研究 東海旅客鉄道(株) 新幹線鉄道事業本部 浜松工場 15:10 ⑧焼却灰コンベア脱輪復旧作業解消の取 組み J&T環境(株)	14:50 講演 スマート農業と食料安全生産の実現に向けた 研究紹介 	14:20 ⑪安全衛生講習機関におけるゼロ災活動の 取組み(転倒災害防止講習の実現) (公社)神奈川労働安全衛生協会 小田原支部 交通安全分科会 14:40 ①優良乗務員育成プロジェクトの取組みにつ いて 名糖運輸(株) 15:00 ②安全運転マスタープログラムの取組みにつ いて 東日本旅客鉄道(株) 長野支社 15:20 休憩 ゼロ災運動分科会 15:30 表彰式 15:50 休憩	14:20 休憩 14:30 講演 なぜあの人は行動しない? 〜ナッジで望ましい行動へと促す〜  青森大学 社会学部 客員教授 竹林正樹
14:30	15:30 休憩	15:50 休憩	15:30 表彰式 15:50 休憩	15:30 休憩
15:00	15:40 ⑨センサー活用による保守用車の追突事故 防止と制動管理改善 (株)JR西日本レールテック 山陽新幹線支店 16:00 ⑩ロールメンテナンスの安全強化! 〜ヒューマンエラーにも対応した安心作業〜 JFEスチール(株) スチール研究所 福山地区 16:20 ⑪安全文化を育む墜落防止対策の取組み について 西武鉄道(株) 鉄道本部 工務部 小手指保線機械所 16:40 ⑫協同安全が現場を変えた: 高所作業の挟まれ災害3年間の軌跡 大和ハウス工業(株)	16:00 特別報告 北海道の農業をもっと安全に (一社)北海道農業機械工業会 専務理事 竹中秀行 	16:00 講演 「感謝と称賛」を生かした強い組織づくり 〜安全の現場や多様なチームへの応用〜  東京女子大学 現代教養学部 心理学科 准教授 正木郁太郎	15:40 ⑪AI現場で挑む! 保健師の挑戦 〜社員のウェルビーイングをPythonで探る〜 マツダ(株) 16:00 ⑫日系大手企業における再発予防と新規休 職者の原因把握に関する取組み キューブ・インタグレーション(株) 16:20 ⑬健康イベントの継続実施による「良好運動 習慣者割合」向上の取組み 北海道電力(株) 16:40 ⑭心理的安全性が生み出す安全で活力ある 職場〜現場主導のコミュニケーション改革〜 富士製薬工業(株)
15:30	15:30 休憩	15:50 休憩	15:30 表彰式 15:50 休憩	15:30 休憩
16:00	16:00 ⑩ロールメンテナンスの安全強化! 〜ヒューマンエラーにも対応した安心作業〜 JFEスチール(株) スチール研究所 福山地区 16:20 ⑪安全文化を育む墜落防止対策の取組み について 西武鉄道(株) 鉄道本部 工務部 小手指保線機械所 16:40 ⑫協同安全が現場を変えた: 高所作業の挟まれ災害3年間の軌跡 大和ハウス工業(株)	16:00 特別報告 北海道の農業をもっと安全に (一社)北海道農業機械工業会 専務理事 竹中秀行 	16:00 講演 「感謝と称賛」を生かした強い組織づくり 〜安全の現場や多様なチームへの応用〜  東京女子大学 現代教養学部 心理学科 准教授 正木郁太郎	15:40 ⑪AI現場で挑む! 保健師の挑戦 〜社員のウェルビーイングをPythonで探る〜 マツダ(株) 16:00 ⑫日系大手企業における再発予防と新規休 職者の原因把握に関する取組み キューブ・インタグレーション(株) 16:20 ⑬健康イベントの継続実施による「良好運動 習慣者割合」向上の取組み 北海道電力(株) 16:40 ⑭心理的安全性が生み出す安全で活力ある 職場〜現場主導のコミュニケーション改革〜 富士製薬工業(株)
16:30	16:40 ⑫協同安全が現場を変えた: 高所作業の挟まれ災害3年間の軌跡 大和ハウス工業(株)	16:30 特別報告 養豚現場における労働安全と衛生管理 おおやファーム(株) 取締役 総務部長 村上英恵	16:00 講演 「感謝と称賛」を生かした強い組織づくり 〜安全の現場や多様なチームへの応用〜  東京女子大学 現代教養学部 心理学科 准教授 正木郁太郎	15:40 ⑪AI現場で挑む! 保健師の挑戦 〜社員のウェルビーイングをPythonで探る〜 マツダ(株) 16:00 ⑫日系大手企業における再発予防と新規休 職者の原因把握に関する取組み キューブ・インタグレーション(株) 16:20 ⑬健康イベントの継続実施による「良好運動 習慣者割合」向上の取組み 北海道電力(株) 16:40 ⑭心理的安全性が生み出す安全で活力ある 職場〜現場主導のコミュニケーション改革〜 富士製薬工業(株)
17:00	17:00 終了	17:00 終了	17:00 終了	17:00 終了

※上記は4月上旬時点の情報です。プログラム内容は諸事情により当日に変更となる場合があります。




各分科会ごとのタイムテーブル (予定) 9月18日(金) 大会3日目

分科会	安全管理活動①	安全衛生教育	労働衛生管理活動	マネジメントシステム・リスクアセスメント/ダイバーシティ等
会場	札幌コンベンションセンター 大ホールA	札幌コンベンションセンター 大ホールB	札幌コンベンションセンター 特別会議場	札幌コンベンションセンター 中ホール
開場時間:各会場とも 9:00 (プログラム開始は9:30)				
9:30	9:30 ⑮「大丈夫だろう」を捨てた挑戦 行動・状態・ルールで築く安全 (株)北海道LIXIL製作所	9:30 ⑮安全衛生教育の取り組みについて (株)北海電工	9:30 ①熱中症の予防と対策で作業リスクを軽減し 労働災害の未然防止を図る 京王電鉄(株)	9:30 ⑬特殊災害リスクを抱える職場の安全性向上活動 ～劇毒物の危険要因から仲間を守る知恵 日産自動車(株) 横浜工場
10:00	9:50 特別報告 産業安全の現状と課題 ～第14次労働災害 防止計画4年目の取組等について～ 厚生労働省	9:50 ⑯新しい体感教育を通じた危険感受性の覚醒! (株)東光高岳	9:50 ②作業姿勢改善分科会による人間工学とDX に着目した労働衛生活動 ビューテック(株) 知多事業所 武豊営業所	9:50 ⑭樹木伐採作業における労働災害のための 安全文化醸成とリスクアセスメントの効果 東日本旅客鉄道(株) 新潟電力設備技術センター
10:30	10:20 ⑯製造部門一体で取り組む安全管理活動に ついて 京セラ(株) 鹿児島川内工場	10:10 ⑰VRを活用した「安全道場」の設置・教育の 開始 KM/バイオロジクス(株) 本社/熊本事業所	10:10 ③当社の熱中症対策～従来の「熱中症は作業 者個人の問題/対策が受け身」意識を変える (株)大林組	10:10 ⑮衝突リスク低減活動 ～安全性と効率化の両立～ (株)小松製作所 湘南工場
11:00	10:40 ⑰383系振子装置のRガイド清掃作業の機 械化による3K作業の排除 東海旅客鉄道(株) 東海鉄道事業本部 名古屋工場	10:30 ⑱現場の知恵と工夫をデジタルで結ぶ安全 教育イノベーション拠点の構築 第一工業製薬(株) 四日市工場	10:30 休憩	10:30 ⑯リスクアセスメント実施によるアルカリ洗 浄作業の安全性向上 川崎重工(株) 明石工場
11:30	11:00 休憩	11:00 講演 社員をカスハラから守る! 一安全配慮義務と企業責任一カスハラ対策徹底解説 場づくり イビデン(株) 青柳事業場	10:40 特別報告 最近の労働衛生に関する動きについて 厚生労働省	10:50 休憩
12:00	11:30 ⑲意識から変える!異なるアプローチからの 転倒災害防止への挑戦 トヨタ自動車北海道(株)	11:10 ⑲ヒヤリハットのシステム化による安全な職 場づくり イビデン(株) 青柳事業場	11:10 ④重篤な「熱中症ゼロ」に向けた取組み 大鉄工業(株)	11:00 ⑰高所作業における安全対策確立への挑戦 東急電鉄(株) 鉄道事業本部 車両部 元住吉検車区
12:30	11:50 ⑳高所作業車における挟まれ防止単管の改良 とその効果について (株)JR西日本レールテック	11:30 ⑳研究室の安全は自らの手で:局所排気装置 「検査者養成」を通じた維持管理の徹底 静岡大学 浜松キャンパス事業場	11:30 ⑤自前で展開する普通救命講習 (株)ダイフク 滋賀事業所	11:20 ⑱さて、困った!どうしよう! 労働安全衛生マネジメントシステムの構築 クミアイ化学工業(株) 本社
13:00	12:10 ㉑40年の沈黙を破れ ～対話・第三者視点・称賛で創る新安全風土～ (株)西日本電機器製作所	12:00 休憩50分	11:50 特別報告 全国衛生管理者協議会事業検討委員会の活 動報告と協議会における活動事例の共有 全国衛生管理者協議会	11:40 ⑲そのリスク評価、ホントに網羅的? 安全・環境・事業を貫くEHS-RA運用術 中外製薬工業(株) 藤枝工場
13:30	12:30 休憩50分	12:50 ㉒人に寄り添い、安全第一を実践できる人づ くりへの挑戦 (株)豊田自動織機 大府工場	12:20 休憩50分	12:00 休憩50分
14:00	13:20 ㉒「伝える安全」から「伝わる安全」へ ～レッツ・フラッシュアップ!安全活動～ (一社)日本自動車工業会	13:10 ㉓検電接地撮影アプリの開発と展開による 安全・効率化への取り組み 東日本旅客鉄道(株)	13:10 鼎談 企業におけるウェルビーイング経営とは何 か、どう進めるか (一財)淳風会 (一社)社会的健康戦略研究所 (株)島津製作所	ダイバーシティ等分科会 12:50 講演 AI時代の安全と多様性を問い直す  公立はこだて未来大学 名誉教授/ NPO学び足しデザイン工房 代表 美馬のゆり
14:30	13:40 ㉓見えない「安心」をカタチに デザインと戦略づくりで心を動かす 静岡大学 静岡キャンパス事業場	13:30 休憩	14:10 休憩	13:50 ⑲終りなき現場の安全の推進～誰もが安心に働ける出入庫作業拡大への挑戦～ (株)小松製作所 小山工場
15:00	14:00 ㉔構内協力会社への安全監査による工事安 全管理強化の取組み デンカ(株) 青海工場	14:00 講演 伝えるのは命 繋ぐのは命  旭川市旭山動物園 統括園長 坂東元	14:20 ⑥海外90拠点の健康管理DX活用による受 診率100%と事後措置迅速化 トヨタ自動車(株) 本社	14:10 ⑲ダイバーシティ推進による災害防止と対 話強化(外国人安全衛生管理) (株)久居LIXIL製作所
15:30	14:20 ㉔災害要因の6分類による重篤災害防止と休 業災害発生率削減の実践 AGC(株) 電子カンパニー 事業基盤本部	15:00 ㉕感電事故再発防止における検電器実習機 の開発 JFEプラントエンジニア(株)	14:40 ⑦組織の見直しに伴う継続的な安全衛生体 制の構築について 東日本旅客鉄道(株) 八王子保線設備技術センター	14:30 休憩
16:00	15:20 ㉕軌道上の開口部を意識させる対策 JR東日本メカトロニクス(株) 首都圏ホームドア工事支店	15:20 ㉕安全衛生教育をより充実させるための提案 トヨタ自動車東日本(株) 本社/宮城大衡工場	15:00 特別報告 有害業務管理でのヘルスサーベイランスの潮 流と新戦略 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	15:00 ⑲外国人材による外国人のための改善活動 (株)真岡製作所 栃木千塚工場
	15:40 ㉖成田国際空港と工事事務局が一体として取り 組む安全衛生管理活動、熱中症対策について 成田国際空港(株)	15:40 ㉖鉄道工事における指令連携強化の訓練事例 東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社 盛岡建築設備技術センター	15:30 ⑧熱中症対策 全体への対策とハイリスク者 への個別対応について ナガセヴィータ(株)	15:20 ⑲高齢者の働き易さが変えた、周りを巻き込 む活動へ～大変な時は大きく変わる時～ テイクイ化器(株)
	16:00 終了	16:00 終了	15:50 ⑨一人ひとりの業務員の労働安全性に対す る意識改善等に関する取組み 九州旅客鉄道(株) 門司車掌区	15:40 ⑲警備の力で地域を元気に! 女性が輝く「新しい警備のカタチ」 (株)安信警備
			16:10 終了	16:00 終了

各研究発表(のコマ)の、発表者の氏名や発表内容の要旨は、特設ウェブサイトに掲載しております。右のQRコードからアクセスして、「大会プログラム」ページをご確認ください。

<https://jisha-taikai2026.com/>



分科会	DX等	安全管理活動②	安全管理活動③	メンタルヘルス・健康づくり・健康経営
会場	札幌コンベンションセンター 小ホール	札幌コンベンションセンター 107&108会議室	札幌市産業振興センター 体育実習室	カナモトホール 大ホール
開場時間:各会場とも 9:00 (プログラム開始は9:30)				
9:30	9:30 ①車両運行日誌・酒気帯び確認アプリ導入で実現する安全管理の効率化 北海道電力ネットワーク(株)	9:30 ①過去の災害事例から学ぶ災害未然防止活動 トヨタ自動車北海道(株)	9:30 ①SUMCO千歳工場 安全の取組み (株)SUMCO 千歳工場	9:30 ⑫自動車部品製造業における従業員の転倒予防へ向けた体力測定を取り組み 三枝工業(株) 古河本社工場
10:00	9:50 ②転倒リスクを可視化したストップ転倒災害への取組 味の素食品(株) 川崎工場 10:10 休憩	9:50 特別報告 北海道における労働災害の動向について 北海道労働局	9:50 ②健診の流れで簡単!姿勢チェックとストレッチで健康意識アップ (株)本田技術研究所 10:10 特別報告 「お豆腐からレンガまで」異業種130社3500名地域最大の企業集団の安全と健康の取組み 江別工業団地協同組合 理事長 杉野邦彦	9:50 ⑬働きながら健康になれる職場づくり パナソニックインダストリー(株) 10:10 ⑭笑いの頻度と総合健康リスクの関連と、笑いを増やす事業所の活動について 三井化学(株) 茂原分工場健康管理室
10:30	10:20 特別報告 伝統産業で進めるDX ~造り酒屋は生き残れるのか!~ 田中酒造(株) 代表取締役社長 岡田栄造	10:20 ②~重筋作業を撲滅せよ~真空ポンプタンク清掃作業の安全化 (株)JFEウイング 10:40 ③3重作業にさようなら~重力に逆らい加重を掛ける重労働~ JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)	10:40 休憩 10:50 ③安全性・作業性を向上させた断線復旧方法の確立 東海旅客鉄道(株) 新幹線鉄道事業本部 東京統括電気所	10:30 ⑮職員の健康づくりをサポートする取り組み事例の紹介 (一財)北海道電気保安協会 10:50 休憩
11:00	10:50 ③AI活用によるリスク抽出精度の向上 京セラ(株) 鹿児島川内工場 11:10 休憩	11:00 休憩 11:10 ④ロープレおよびKYT活動を通じた安全作業および事故防止の視点から正則作業の確認 東急プロパティマネジメント(株) ヒルマネジメント事業本部	11:10 ④転倒災害撲滅に向けた活動 ~クリーンルーム~ リコーインダストリー(株) 本社事業所	11:00 講演 従業員の活躍最大化と、企業活動の基盤としての組織風土変革  マツダ(株) 人事本部 本部長 西川智士
11:30	11:20 ④高騒音下でも音声通話可能なデバイスの開発及び導入に向けた取り組み ENEOS(株) 11:40 ⑤能登半島・国道249号の災害復旧に先端技術で挑む【迅速で柔軟に・安全に!】 (株)大林組 北陸支店 能登半島災害復旧工事事務所	11:30 ⑤危険予知活動の活性化について (株)クリハラント 11:50 ⑥安全意識の向上に向けた安全の取組みと事例発表 (株)JRI西日本テクノス 下関支店	11:30 ⑤現場一体となった「つまづき事故ゼロ」に向けた活動強化 (株)サンゲツ 関西ロジスティクスセンター 11:50 ⑥宣言行動での情報発信によるミス・エラーの低減 日本電設工業(株) 横浜支社	12:00 特別報告 北海道における労働者の健康確保について 北海道労働局 12:30 休憩50分
12:00	12:00 ⑥ドローンを活用した構造物検査の安全対策について (株)JRI西日本レールテック 12:20 休憩50分	12:10 ⑦荷役作業における機能分離と台数最適化による本質的安全の実現 (株)熊山LIXIL製作所 12:30 休憩50分	12:10 休憩50分 13:00 特別報告 世間に知られない空港安全の現場力~降着部の労働負荷低減と空港特有リスクへの挑戦~ 三共電気工業(株) 千歳支店 常務取締役 兼 千歳支店長 内田順一	12:00 特別報告 北海道における労働者の健康確保について 北海道労働局 12:30 休憩50分
13:00	13:10 ⑦スポンジチタン縮分作業の自動化 東邦チタニウム(株) 茅ヶ崎工場	13:20 ⑧作業のつなぎの動作に目を付けた安全性向上活動 日産自動車九州(株) 13:40 ⑨ディスクグラインダー使用時の安全対策 東邦チタニウム(株) 茅ヶ崎工場	13:30 ⑦転炉自動吹付機動力化による吹付け作業の安全性向上 日本製鉄(株) 関西製鉄所 13:50 ⑧労働災害原因の「定量評価」並びに「安全管理上の弱点」への気づき (株)J-POWERハイテック	13:20 ⑨ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善について (株)北海電工 13:40 ⑩社員食堂を活用した食育の取り組み ~スマートミール普及活動~ トヨタ自動車(株) 本社
13:30	13:30 ⑧若手が挑む!安全パトロールのアプリ管理 (株)サンゲツ 中部ロジスティクスセンター 13:50 ⑨没入型安全教育システムによるリスクレベル低減活動 日産自動車(株) 追浜工場	14:00 休憩 14:10 特別報告 TAKANAWA GATEWAY CITY ~歴史遺構と未来を紡ぐ技術の挑戦~ (株)大林組 常務執行役員 東京本店建築事業部副事業部長 近藤宏	14:10 ⑨ウェアラブルデバイスを活用した熱中症対策の有効性について (株)シマフンコーポレーション 14:30 休憩	14:00 ⑪仕事の要求度-資源モデルを用いたストレス、ワークエンゲイジメントの影響因子の検討 (株)神戸製鋼所 神戸総合技術研究所 14:20 休憩
14:00	14:10 ⑩ウレタン加工工場で安全DXを3年間実施した成果とウェルビーイングの可視化について (株)セーフアップ 14:30 休憩 14:40 ⑪生成AIを用いた労働災害情報の活用 AGC(株)	14:40 ⑩職場レイアウト変更に伴う安全への取組 ナプテスコ(株) 鉄道カンパニー 西神工場 15:00 ⑪保線作業における労働災害防止にむけた人的作業省力化の取り組み 東日本旅客鉄道(株) 新幹線統括本部	14:40 ⑩安全活動を「プラスの価値」へ (株)神戸製鋼所 技術開発本部 15:00 ⑪教訓から火災ゼロを仕組みで実現するマネジメントへの変革 トヨタ車体(株) 本社・富士松工場	14:30 パネルディスカッション 若者のメンタルヘルスケアを考える 神奈川大学 人間科学研究所 (株)構造計画研究所ホールディングス 日鉄ソリューションズ(株) 東京工科大学デザイン学部
15:00	15:00 ⑫新ヒヤリ・GJ報告とバイタルセンサーによる安全文化の再設計 (株)堀組 15:20 ⑬Microsoft365を用いた安全衛生チェックシートアプリの作成と運用 (独)国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校	15:20 ⑫NICHIGOゼロ災への挑戦 (株)NICHIGO 15:40 ⑬研削砥石交換作業の改善 ~自分事である安全職場を目指して~ 日本製鋼所 M&E(株) 室蘭製作所	15:20 ⑫車両内各各種車両入換作業における作業安全の向上 小田急電鉄(株) 大野総合車両所 15:40 ⑬保守用車使用時の厳守事項の取組みについて 九鉄工業(株)	14:00 ⑫社員の要求度-資源モデルを用いたストレス、ワークエンゲイジメントの影響因子の検討 (株)神戸製鋼所 神戸総合技術研究所 14:20 休憩
15:30	15:40 ⑭仙台製造所における熱中症対策への取組み JFEスチール(株) 仙台製造所	16:00 終了	16:00 終了	16:00 終了

上記は4月上旬時点の情報です。
プログラム内容は諸事情により当日に変更となる場合があります。



講演・特別報告・シンポジウム・パネルディスカッション・鼎談・表彰式

講演・特別報告・シンポジウム・パネルディスカッション・鼎談の発表者のプログラム内容です。

なお、研究発表の情報は、特設ウェブサイト (<https://jisha-taikai2026.com/>) に掲載しております。

特設ウェブサイトへアクセスのうえ、「プログラム・タイムテーブル」ページにてご確認ください。



特設ウェブサイト

安全管理活動分科会①

9/17 (木) 10:20 ～ 11:20	講演 現場力向上の図りかた ～ What・How・Whyをキーワードにして～ 早稲田大学理工学術院 経営システム工学科 教授 小松原 明哲	現場は忙しく、人の入れ替わりも激しい。そうした中でも、安全確保のためには、現場力の育成が重要と思う。その推進のカギは、What:何をやるのか? How:どのようにするのか? Why:どうしてそうするのか?にあると感じる。これらをキーワードに現場力の向上策を模索したい。
9/17 (木) 13:30 ～ 14:00	特別報告 北海道ボールパーク建設の安全管理 ～さまざまな課題克服と挑戦の日々～ (株)大林組 専務執行役員 大阪本店長 兼 大阪本店建築事業部長 竹中 秀文	[世界がまだ見ぬボールパークをつくる] 関係者共通の合言葉のもと、簡単ではない工期、北海道の厳しい冬、前例のない屋根付き天然芝スタジアムと向き合い建設工事を進めた。1,000日間、延65万人の作業員を費やした工事は苦闘であり、その安全管理は容易ではなかった。
9/18 (金) 9:50 ～ 10:20	特別報告 産業安全の現状と課題 ～第14次労働災害防止計画4年目の取組等について～ 厚生労働省 労働基準局安全衛生部安全課 安全課長 土井 智史	産業構造や就業構造の変化に伴い、多様な人材が安心して安全に働ける職場づくりが求められている。労働災害発生状況を踏まえて、皆さまの職場で取り組んでいただきたい安全管理活動について厚生労働省の取組とともに紹介する。
9/18 (金) 14:50 ～ 15:20	特別報告 令和8年度日本化学工業協会 安全最優秀賞事業所 (調整中)	(調整中)

安全衛生教育分科会

9/17 (木) 9:50 ～ 10:20	特別報告 なぜ北大の安全教育は学生に響くのか ～AI時代にこそ必要な「人を護る」への意識改革 北海道大学 安全衛生本部 教授 川上 貴教	大学での安全教育は期待されていない。その常識を覆す北大大学院最大級の履修者数を誇る授業科目がある。対面、オンライン、そしてAI時代へと変遷しつつも、変わらず「専門家として人を護る覚悟」を説いて学生の心に火を付ける。そんなマインドセット教育の舞台裏を紹介する。
9/18 (金) 11:00 ～ 12:00	講演 社員をカスハラから守る! ～安全配慮義務と企業責任～カスハラ対策徹底解説 (一社)日本ワークルール検定協会 理事/ラジオパーソナリティ 齊藤 勉	カスハラ対策を法律・実態・現場対応の視点でバランスよく、手品も交えて分かりやすく解説すると全国で評判の道内第一人者の講師が、改正労働施策総合推進法に沿った労働者保護の具体策を紹介する。
9/18 (金) 14:00 ～ 15:00	講演 伝えるのは命 繋ぐのは命 旭川市旭山動物園 統括園長 坂東 元	旭山動物園はその動物らしい行動を発現させ、次世代に命を繋げる環境を整備している。行動が豊かになると動物の側にも飼育スタッフの側にも思わぬ事故につながる事態が生じる可能性がうまれる。いかにその事態を予測し先回りをして回避し、その動物らしさを縛ることなく開放し続けられるかが私たちの仕事である。

化学物質管理活動分科会

9/17 (木) 10:10 ～ 10:40	特別報告 最新の化学物質規制の動向について 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課長 中野 響	近年の物質の多様化や国際的な潮流を踏まえ、化学物質管理は限られた物質に対して個別具体的な規制を行う仕組みから、自律的な管理の仕組みに転換している。令和7年の労働安全衛生法等の改正内容を含め、最新の化学物質規制の動向について紹介する。
9/17 (木) 13:40 ～ 15:10	パネルディスカッション 「個人ばく露測定」実施に向けて パネリスト 厚生労働省 労働基準局安全衛生部化学物質対策課環境改善・ばく露対策室 室長 佐藤 誠 (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター センター長代理 小野 真理子 (株)神戸製鋼所 茨木工場 溶接事業部門生産センター 安全・環境室 課長 藤河 研次郎 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 衛生管理士 山室 堅治 モデレーター 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 化学物質調査分析課 課長 島田 真美	労働安全衛生法・作業環境測定法の改正が行われ、令和8年10月から作業環境測定に「作業環境における労働者の有害な因子のばく露の程度を把握するために行うもの」すなわち個人ばく露測定が追加されることになる。指定作業場に追加されることになった溶接ヒュームの測定、改善が困難な第3管理区分の測定、確認測定を含むリスクアセスメントのための測定の作業場では、一定の要件を満たした作業環境測定士が個人ばく露測定を実施しなければならない。個人ばく露測定の実施に向け、それぞれの立場からの提言及び意見交換を行う。

労働衛生管理活動分科会

9/18 (金) 10:40 ～ 11:10	特別報告 最近の労働衛生に関する動きについて 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長 諸富 伸夫	職場における労働衛生対策は、労働者の高齢化や女性活躍等を受けて大きく変化している。メンタルヘルス対策や治療と仕事の両立支援、労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目や女性特有の健康課題への対応など、労働衛生行政の現状を紹介する。
9/18 (金) 11:50 ～ 12:20	特別報告 全国衛生管理者協議会事業検討委員会の活動報告と協議会における活動事例の共有 全国衛生管理者協議会 事業検討委員会 委員長 伊藤 伸也	事業検討委員会では、ここ数年、衛生管理者及び会員となる協議会を対象に実態調査の実施と報告書作成、能力向上教育用テキストの改訂など種々活動に取り組んできた。衛生管理者への支援について、各地区協議会では新たな切り口を模索し、取り組み始めており、その一端を紹介する。
9/18 (金) 13:10 ～ 14:10	鼎談 企業におけるウェルビーイング経営とは何か、どう進めるか (一財)淳風会 代表理事理事長 川上 憲人 (一社)社会的健康戦略研究所 代表理事 浅野 健一郎 (株)島津製作所 人事部健康・安全センター健康経営グループ 主任 春藤 行敏	従業員のウェルビーイングを向上させる企業価値の向上につなげる「ウェルビーイング経営」に関心が高まっている。この鼎談では、ISO25554ウェルビーイング規格、労働衛生機関からの提案、実践企業からの報告をもとに、企業におけるウェルビーイング経営の考え方、進め方について考える。

9/18 (金) 15:00 ～ 15:30	特別報告	有害業務管理でのヘルスサーベイランスの潮流と新戦略 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター 化学物質情報管理部長 山本 健也	リスクベースへの転換期にある労働衛生・産業保健における「健康影響モニタリング」の考え方に基づき、化学物質のみならず他の職場有害要因においても、「リスクの低減による予防対策」および「起こり得る疾病を可能な範囲で予見すること」の重要性について概説する。
---------------------------------	-------------	--	--

🔗 マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会

9/17 (木) 10:20 ～ 10:50	特別報告	ISO45001改訂のポイント ～どこが変わるの？ ISO45001 最終報告～ 中央労働災害防止協会 認証事業執行責任者 安全衛生マネジメントシステム審査センター所長 ISO/TC283日本代表エキスパート 齊藤 信吾	2024年からISO/TC283にて改訂作業が進められてきたISO45001は、2027年3月に発行される予定である。改訂作業に日本代表として参加した演者が、改訂版ISO45001で新たに追加された要求事項や主要な変更点について紹介する。
9/17 (木) 10:50 ～ 12:20	パネルディスカッション	改訂版ISO45001にどのように対応するか ～事業場が実施すべき準備と対策～ パネリスト (株)SUMCO 全社産業医 資生堂(株) 那須工場 工場長 彌富 美奈子 西田 美晴 ファシリテーター 中央労働災害防止協会 認証事業執行責任者 安全衛生マネジメントシステム審査センター所長 ISO/TC283日本代表エキスパート 齊藤 信吾 司 会 中央労働災害防止協会 安全衛生マネジメントシステム審査センター 副所長 木村 隆賢	2027年3月に発行予定の改訂版ISO45001では、労働に係るウェルビーイングの促進、多様性への対応、労働衛生に関する要求事項が新たに追加されている。中災防でISO45001の認証を取得された事業場で、既にこれらのテーマに取り組んでいる2社の具体的な事例を紹介しながら、改訂版ISO45001への円滑な移行のために事業場が実施すべき準備や対応方法についてディスカッションを行う。

👤 ダイバーシティ等分科会

9/18 (金) 12:50 ～ 13:50	講演	AI時代の安全と多様性を問い直す 公立はこだて未来大学 名誉教授／ NPO学び足しデザイン工房 代表 美馬 のゆり	AIの活用が広がる中、安全のあり方はこれまでと同じでよいのか。多様性は属性の違いにとどまるのか、それとも視点や経験、価値観の違いまで含むのか。現場の声に耳を傾けながら、AIと人が協働する安全の姿を参加者と共に考え、対話を重ね実践を見直す機会としたい。
---------------------------------	-----------	---	---

🔧 機械・設備等の安全分科会

9/17 (木) 11:00 ～ 12:00	講演	ロボットと機械安全 名古屋大学 名誉教授 山田 陽滋	ロボットが、人間との接触限界を与える重篤度規範はヒトの痛覚耐性であると、講演者が検証データに基づき提案して四半世紀が経過した。近年はこれをリスク観点で捉え、第二の規範として内出血耐性について研究し、規格化まで行ってきた。本講演ではそれらの内容について紹介する。
9/17 (木) 12:50 ～ 14:00	事例紹介	安全エキスパート育成で切り拓く既存機械安全化と休業度数率低減の実現 日本精工(株) 生産本部 EHS推進室 室長 原 謙一郎 安全確認型システム導入と動力源遮断活動の展開 日本軽金属(株) 環境保全・安全衛生統括部 安全衛生担当部長 渡邊 寛幸 日本軽金属(株) 名古屋工場 冷延課 ロール整備班 組長代理 喜多 健次	機械設備の安全化を実現するカギ、それは「機械の包括的な安全基準に関する指針」である。当社では、安全技術エキスパートの育成を柱とした体制強化で、課題であった既存機械設備のリスク低減と休業度数率低下を実現した。確かな成果につながった取り組みを事例とともに紹介する。
	表彰事業場	食品生産機械の安全設計におけるグローバルスタンダードを目指す レオン自動機(株) 開発設計部 部長 大貫 豊純 第二回 機械安全推進表彰 表彰式 授与：日本精工(株) 日本軽金属(株) レオン自動機(株)	弊社では、機械による災害の低減のため「技術で安全を構築する」ことを目的に、『安全確認型システム』を導入し、安全技術者の育成を進めてきた。事業所での展開として、名古屋工場が『動力源遮断活動』として、現在に至るまで計画的に取り組んだ事例と合わせて紹介する。 弊社では世界各国に向けて食品生産機械の製造販売を行い各国の規制を遵守した安全設計を行っているが、特に日本国内との安全設計の統一が図れない。構造や部品を共通化するためにもシングルスタンダードの実現を目指しており、取り組みとリスクアセスメント内容を紹介する。 中災防が、機械安全に積極的に取り組み他の事業場の模範となる取り組みを実施している事業場に対し、表彰状を授与することにより機械安全の普及促進を図ることを目的とする。

📱 DX等分科会

9/18 (金) 10:20 ～ 10:50	特別報告	伝統産業で進めるDX～造り酒屋は生き残れるのか!～ 田中酒造(株) 代表取締役社長 岡田 栄造	創業120年超の歴史は絶え間ない変化の歴史。今後も伝統は守り続けながらも、DXの取り組みはもちろん、経営者が先頭に立って会社全体が常に新しいことにチャレンジして、自ら変化することを恐れず、2049年創業150年を目指す。
---------------------------------	-------------	---	--

🍴 食を支える産業の安全を考える分科会

9/17 (木) 11:40 ～ 12:10	特別報告	機器導入から始める「労災ゼロ」の工場経営 石屋製菓(株) 取締役 柳澤 和宏	食品工場の機械設備は人と距離が近く労災発生のおそれや頻度が高いが、その仕組みや機工の改善を購入段階で行うことで頻度やリスクを大きく減らすことができる。当社が重要視する機械設備「選定時」と「購入時」におけるポイントを実例を用いて紹介する。
9/17 (木) 13:10 ～ 14:40	シンポジウム	未来へつなぐ農業と農作業安全 基調講演 農作業安全の推進に関する取り組みについて 農林水産省 農政局 技術普及課 生産資材対策室長 美保 雄一郎 パネルディスカッション 座 長 農業ジャーナリスト／フリーアナウンサー 小谷 あゆみ パネリスト JAオホーツク網走青年部 部長 丸山 雄平 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 紺屋 朋子 (株)Kalm角山 代表取締役 川口 谷 仁	近年、農作業の現場では、高齢化と担い手不足、耕作放棄地の増加といった構造問題に加え、温暖化による気候変動等、深刻な課題に直面している。本シンポジウムでは、農業現場に対する理解を深め、農業の発展に資するため、進化する労働環境や農作業安全に関する最新情報と現場の取組事例などを共有しながら、今後の展望を考える。

9/17 (木) 14:50 ～ 15:50	講 演	スマート農業と食料安全生産の実現に向けた研究紹介 北海道大学 大学院農学研究院 ピークルロボティクス研究室 准教授 楊 亮亮	日本農業は従事人口1%以下で高齢化が進む。省力化と安全性向上のため、衛星通信による農業車両の自動化、遠隔操縦の開発などのロボット現状を紹介する。
9/17 (木) 16:00 ～ 16:30	特別報告	北海道の農作業をもっと安全に (一社)北海道農業機械工業会 専務理事 竹中 秀行	過去10年間、北海道の農作業事故件数に減少の兆しは見えていない。生産縮小や廃業に至る要因ともなりうる事故を如何に防ぎ、農作業を本質的に安全なものにするか。機械と家畜に起因する事故例を紹介し、その防止対策を展望する。
9/17 (木) 16:30 ～ 17:00	特別報告	養豚現場における労働安全と衛生管理 おおよファーム(株) 取締役総務部長 村上 英恵	当社は年間36,000頭を生産する養豚農場である。労働災害防止と衛生管理を経営の基盤と位置づけ、作業標準化、防疫体制の徹底、設備改善などに取り組んできた。畜舎内の見える化も含めた取組を通じ、安全管理体制の確立を推進している。本講演では当社の安全管理の実践について紹介する。

安全管理活動分科会②

9/18 (金) 9:50 ～ 10:20	特別報告	北海道における労働災害の動向について 北海道労働局 労働基準部安全課 安全課長 衞 裕美	死亡災害の10%以上減少と増加する死傷災害を減少に転じさせることを目標とした第14次労働災害防止計画の推進状況について報告する。
9/18 (金) 14:10 ～ 14:40	特別報告	TAKANAWA GATEWAY CITY ～歴史遺構と未来を紡ぐ技術の挑戦～ (株)大林組 常務執行役員 東京本店建築事業部副事業部長 近藤 宏	TAKANAWA GATEWAY CITYは、日本初の鉄道が走った高輪の歴史を継承し、国際交流拠点として進められた国内最大級の再開発である。超高層・鉄道近接・大深度掘削などの厳しい条件下で高度な施工技術を結集し、100年先の未来への第一歩を築いた。

ゼロ災運動分科会

9/17 (木) 12:00 ～ 12:30	特別報告	運動展望 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部ゼロ災推進課 主席参事 武井 勝一	1. ゼロ災運動とは(人間尊重の理念と「ゼロ・先取り・参加」) 2. 健康づくり(転倒・腰痛予防体操) 3. 働きがい(ワークエンゲイジメント) 4. ゼロ災運動の職場づくり、人づくり(コミュニケーション、新手法検討)
9/17 (木) 15:30 ～ 15:50	表彰式	ゼロ災運動 表彰式	ゼロ災運動の普及、推進に積極的に取り組んでいる事業場・個人・団体に対してゼロ災運動推進感謝状を贈呈する。また、全国ゼロ災運動推進協議会が募集した、ゼロ災運動の標語と危険予知訓練イラストシートの優秀作品への表彰を行う。
9/17 (木) 16:00 ～ 17:00	講演	「感謝と称賛」を生かした強い組織づくり ～安全の現場や多様性あるチームへの応用～ 東京女子大学 現代教養学部 心理学科 准教授 正木 郁太郎	仕事の要求や負荷が高まる中、人手も不足し、組織運営の難度が増している。本講演では困難に対処する「組織力向上」の手段として、感謝と称賛に関する心理学の研究や、企業の実践事例を紹介する。安全の現場への適用例や、実践のコツ、風土作りへのつなげ方なども紹介予定である。

安全管理活動分科会③

9/18 (金) 10:10 ～ 10:40	特別報告	「お豆腐からレンガまで」異業種130社3500名 地域最大の企業集団の安全と健康の取組み 江別工業団地協同組合 理事長 杉野 邦彦	江別工業団地協同組合は異業種の工業団地として日本第1号の認可となった共同受電事業を基盤に安全衛生・福利厚生・販売購買・総務・共同受電の5つの委員会を組織し年間100の事業に取組む日本でも特異なチャレンジ集団である。安全と健康で地域に貢献する組合の全貌を紹介する。
9/18 (金) 13:00 ～ 13:30	特別報告	世間に知られない空港安全の現場力 ～降雪期の労働負荷低減と空港特有リスクへの挑戦～ 三共電気工業(株) 千歳支店 常務取締役 兼 千歳支店長 内田 順一	空港は24時間止めることのできないインフラである。私たちは表に出ることなく、陰で安全を守り続けている。雪国ならではの過酷な環境下での労働負荷低減の工夫、空港特有のリスクを防止するシステムの導入など、普段は世間に知られることの少ない現場の安全活動を紹介する。

メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会

9/17 (木) 9:50 ～ 10:20	特別報告	人財戦略としてのプレコンセプションケア～若年層の健康課題を見据えて～ (株)JUMOKU 代表取締役 日本産業衛生学会専門医・指導医 産業医科大学医学部衛生学非常勤講師 長井 聡里	若年層の健康課題は、将来の妊娠・出産を含むライフコースの観点から、現在プレコンセプションケアとして注目され始めている。女性特有の健康問題や男性を含む生活習慣を就労者の個人任せせず、就業継続リスクとして捉え、企業の安全衛生戦略と人財戦略に組み込む方を産業界の立場から考察する。
9/17 (木) 14:30 ～ 15:30	講演	なぜあの人は行動しない? ～ナッジで望ましい行動へと促す～ 青森大学 社会学部 客員教授 竹林 正樹	行動の重要性を理解しても行動を先延ばしする背景に、認知バイアスがある。認知バイアスの特性に沿った設計(ナッジ)を行うことで自発的な行動を促すことが可能になる。政府はナッジによる行動促進を推奨している。本セッションではナッジの基礎から実践まで、一発でわかる時間にする。
9/18 (金) 11:00 ～ 12:00	講演	従業員の活躍最大化と、企業活動の基盤としての組織風土変革 マツダ(株) 人事部 本部長 西川 智士	マツダにとって最も重要な資産は人であり「価値創造の源泉は人」である。マツダの従業員一人ひとりが活躍できる環境の実現に向けた組織風土変革の全体像を報告する。
9/18 (金) 12:00 ～ 12:30	特別報告	北海道における労働者の健康確保について 北海道労働局 労働基準部健康課 健康課長 吉田 佳孝	北海道で働く方の健康確保対策について、事例を挙げて紹介する。また、熱中症による労働災害についてもデータを示して報告する。
9/18 (金) 14:30 ～ 16:00	パネルディスカッション	若者のメンタルヘルスカを考える 座長 神奈川大学 人間科学研究所 客員教授 パネリスト (株)構造計画研究所ホールディングス 総務部社内コミュニケーション室 チームリーダー 日鉄ソリューションズ(株) 人事部人事企画部 健康経営グループリーダー 東京工科大学デザイン学部 就職担当特任講師	松本 桂樹 小島 有香子 椎葉 倫代 野条 美貴
SNSなどITの進展によって、対面コミュニケーションが減少するなどの弊害が表れています。特にスマートフォンが普及した世代のコミュニケーションやメンタルヘルスカに注目が集まっており、事業場や大学での取組、若者への支援方法を考える。			

オンライン限定プログラム

オンライン限定のプログラムです。現地開催プログラムとは異なる内容です（現地開催プログラムの配信は行いません）。大会に参加される方はすべてご視聴いただけます（視聴方法については8月下旬に別途ご案内いたします）。配信期間は、令和8年9月16日（水）～10月2日（金）です。研究発表の発表者の氏名や発表内容の要旨は、特設ウェブサイト（<https://jisha-taikai2026.com/>）に掲載しております。右のQRコードからアクセスして、「プログラム・タイムテーブル」ページをご確認ください。



特設ウェブサイトは
こちらから

特別報告

- | | |
|---|--|
| <p>1 クレーン用ワイヤロープの荷重履歴による管理手法の提案
 <small>（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
 機械システム安全研究グループ 部長</small>
 山際 謙太</p> | <p>クレーン用ワイヤロープ（IWRC 6×Fi（29））の荷重変動を伴うS曲げ疲労試験を実施した。荷重と破断に至る繰返し数の関係は線形累積損傷則により整理することができ、クレーン作業の荷重履歴が保持できる場合はワイヤロープの適切な交換時期の推定が可能であることを示した。</p> |
|---|--|

研究発表

<p>1 リスクアセスメントによる安全意識向上 ～みんなでつくる安全な職場～ <small>日産自動車（株） 横浜工場</small></p> <p>3 デジタル技術を活用したコントラクターマネジメントの実践 <small>武田薬品工業（株） 大阪工場</small></p> <p>5 OHSMS及び現場作業員と共に歩んだゼロ災活動 <small>浅川造船（株） 東予工場</small></p> <p>7 安全衛生委員会 こうしたら 盛り上がった <small>（株）キステム</small></p> <p>9 スクラップバック交換作業安全化 <small>JFEスチール（株） 東日本製鉄所（千葉地区）</small></p> <p>11 誰でも安心して取り組めるマスクフィットテスト用マスクの金具圧入作業の改善 <small>愛三工業（株）</small></p> <p>13 重大災害防止へ向けたIOGP Life-Saving Rules導入の取り組み <small>ENEOS Xplora（株）</small></p> <p>15 現場力で切り拓く！安全・生産性向上への道 <small>ナブテスコ（株） 鉄道カンパニー 神戸工場</small></p> <p>17 若手社員が中心となった災害ゼロへの取り組み <small>（株）サンゲツ 東北ロジスティクスセンター</small></p> <p>19 RST講座の同期生で企業間交流（安全交流会）を企画開催！サステナブルな安全衛生！ <small>中田食品（株）</small></p> <p>21 安全は、みんなで作るもの ～災害ゼロを目指すフープ材交換作業～ <small>（株）デンソー 大安製作所</small></p> <p>23 鉄道車両検査庫における熱中症リスク低減施策の紹介 <small>京浜急行電鉄（株） 鉄道本部 車両部 新町検車区</small></p> <p>25 女性発・協働への第一歩一性差を超え一緒に明日を切り拓く <small>西日本旅客鉄道（株） 金沢支社 金沢新幹線電気区</small></p> <p>27 NX日本通運における海外赴任者健康支援の取り組み <small>日本通運（株） 本社事業所</small></p>	<p>2 スマホ活用で加速する安全DX：DSBT安全ネットワークがもたらすゼロ労災の未来 <small>第一三共バイオテック（株） 北本工場</small></p> <p>4 確実に届く安全を！誰一人取り残さない『安心感のある安全職場を目指して』 <small>トヨタ自動車九州（株）</small></p> <p>6 工場をつなぐ安全の輪—工場安全協議会と事故事例共有による労災防止活動 <small>ヤンマーホールディングス（株）</small></p> <p>8 ウェアラブルカメラを活用した「伝わる」指示と安全意識向上を目指したOJTの取組み <small>（株）ユアテック 宮城支社仙台北営業所</small></p> <p>10 ウェルダ溶接トラブル「ゼロ」化 ～特認リスク低減への挑戦～ <small>JFEスチール（株） 東日本製鉄所（京浜）</small></p> <p>12 安全を支える仕組みと教育改革—輸送事業での実践 <small>池田興業（株）</small></p> <p>14 墜落制止用器具を正しく使用するための協力会社との検討 <small>JR西日本電気テック（株） 近畿エリア本部 神戸メンテナンスセンター</small></p> <p>16 一人ひとりがいきいき働ける職場を目指して ～職場特性を踏まえた人材育成と健康管理～ <small>東武鉄道（株） 太田駅管区</small></p> <p>18 内発的動機から行動へつなげる事故低減の取り組み <small>（国研）理化学研究所</small></p> <p>20 リスクを想起できなかった施設損壊事案の再発防止について <small>（株）NAAファシリティーズ</small></p> <p>22 ウェルダ電極輪入れの安全化 ～工夫を重ねて三千里 辿り着いた最強の研磨治具～ <small>JFEスチール（株） 西日本製鉄所（福山地区）</small></p> <p>24 快適な職場環境を目指した暑熱・寒冷対策の取り組み <small>トヨタ自動車（株） 明知工場</small></p> <p>26 運転士の1日から学ぶ労働災害防止 <small>東急電鉄（株） 奥沢乗務区</small></p> <p>28 労働災害低減に向けたAIカメラの活用 <small>（株）神戸製鋼所</small></p>
--	--

生産性映像

（公財）日本生産性本部

東京都千代田区平河町2-13-12
 Tel.03-3511-4034 Fax.03-3511-4073

好評作品

新時代のメディア教育システムの構築 それが生産性映像の姿勢です。



なぜ落ちたの お父さん

父の墜落災害が発生した理由を知るために現場を訪れた女子高校生かおりが、所長や職長から安全に対する考え方を説明してもらったドラマ形式の教材となっています。【17分 55,000円（内消費税10% 5,000円）】



イメージすれば危険が見える

「自分のことは自分自身で守る」という意識を高め、「どのようなことを行えばよいのか」ということを具体的に解説していきます。【13分 55,000円（内消費税10% 5,000円）】



不注意の代償

「たった一度の不注意や過ちが、企業や個人の信用を落とす可能性がある」ということを理解していただくための教材です。【23分 55,000円（内消費税10% 5,000円）】

参加申込要領

1 申込方法

以下をご確認いただき、申込締切日までにお申込みください。

《インターネットからのお申込みをお願いいたします ※受付開始：令和8年5月12日(火)》
全国産業安全衛生大会特設ウェブサイト (<https://jisha-taikai2026.com/>) から申込サイトへ
お進みいただき、必要事項をご登録ください。

※インターネットからのお申込みが難しい場合は、FAXにてお申込みを受付いたします。
15ページの申込書にご記入のうえ、「中災防 教育ゼロ災推進部イベント事業課」宛てにFAXまたはご郵送ください。



特設ウェブサイト
QRコード

2 お申込み後の流れ

1. 大会特設ウェブサイトの「参加申込・申込要領」ボタンをクリックして申込サイトに進み、「新規申込みはこちら」から申込登録いただく(※詳細は、当該サイトの「申込手続・お振込みの流れについて」をご確認ください)
2. 申込登録後、申込担当者のメールアドレス宛てに、請求書ダウンロード方法等をご案内
3. 期日までに参加費をお支払いいただく
4. 申込担当者のメールアドレス宛てにオンライン限定プログラム配信についてご案内(8月下旬にご案内)
5. 申込者マイページより参加章をダウンロードいただく(8月下旬にご案内)

3 申込締切日：令和8年9月10日(木)

※締切日を過ぎた場合には、中災防イベント事業課にご相談ください。

4 参加費(参加費改定)：一般…1名 18,700円／中災防賛助会員…1名 9,350円 (10%消費税込)

※中災防賛助会員とは…中災防の賛助会員としてご入会いただいている事業場様です。
※中災防賛助会員価格は、加入口数1口につき1名様分を適用いたします。
(例：中災防賛助会員として1口加入し、3名様で申込まれる場合の参加費：9,350円×1名、18,700円×2名)
※他団体や労働基準協会等の会員様は割引対象外です。

5 参加費のお支払い方法：振込期限：令和8年9月14日(月)

申込み受付後、「請求書ダウンロードのご案内メール」を配信いたしますので、申込者マイページから申込者様ご自身で請求書をダウンロードいただけます。

参加費は請求書に記載の口座へ期日までにお振込みください(振込手数料は必ずご負担願います)。

※昨年度(令和7年度)よりお振込み口座が変わりました。請求書をご確認のうえ、お振込みください。

6 参加章ダウンロードについて

参加者の情報をご登録いただいた後、申込担当者のメールアドレス宛てに「参加章ダウンロード開始のご案内」を配信いたします(8月下旬)。

ご案内後、申込者マイページからダウンロードし、印刷のうえ、参加者にお渡しください。

※参加章は郵送いたしません。

7 当日の来場について

大会会場の受付場所まで参加章をご提示ください。大会資料をお渡しいたします。

受付後は、参加章を首から下げて着用してください。

※同一の参加章で複数人の入場はできません。

※参加章を着用するためのホルダーは会場でお渡しいたします。

8 情報交流会の申込について：16ページをご覧のうえ、中災防担当部所へお申込みください。

9 宿泊予約サイトについて(宿泊費有料)

昨今のインバウンド需要の高まり、大型連休等により、大会の開催地周辺は混雑する可能性がございます。

宿泊される場合には、お早目に宿泊先を確保されることをお勧めいたします。

なお、特設ウェブサイトに旅行会社のリンク先を掲載いたしますので、ご覧ください。

※予約サイトの運用は、旅行会社にて行いますので、宿泊に関する詳細、およびお問い合わせ先の情報は、予約サイトよりお確かめください。

第85回全国産業安全衛生大会 FAX等申込書

■インターネットからのお申込みが可能な方は、本紙を使用せず、特設ウェブサイトからお申込みください。(https://jisha-taikai2026.com/ 右のQRコードからアクセス可)



※枠内すべて必須

申込日 令和8年 月 日

フリガナ	
会社名・事業場名	
所在地	(〒 -)
申込担当者	フリガナ
	申込担当者名
	所属部署名
	TEL
	メールアドレス ※正確・丁寧に記入ください。
申込人数	合計 名
請求書宛名 ※請求書に印字する名称	※法人格も含めてご記入ください。 「請求書宛名： 」
質問	●本大会運営等の参考としますので、以下の質問にお答えください。 大会はどちらの労働基準協会（連合会）からご案内を受けましたか？ 対象となる労働基準協会（連合会）の都道府県をご記入ください。「都道府県： 」
<p>※お申込み受付後、申込担当者のメールアドレス宛てに、申込者マイページのID、PASS、請求書ダウンロード方法等についてご案内いたします。メールアドレスは正確・丁寧に記入ください。</p> <p>※「@jisha.or.jp」からのメールが受信できるようご設定ください。</p> <p>※上記メールが届きましたら、申込者マイページからご自身で請求書をダウンロードしてください。</p> <p>※申込担当者のメールアドレス宛てにオンライン限定プログラム配信についてご案内いたします。（8月下旬）</p> <p>※申込者マイページより参加章をダウンロードいただきます。（ダウンロード方法ご案内：8月下旬）</p> <p>参加章は郵送いたしません。申込者マイページから印刷のうえ、参加者にお渡しください。</p>	

ご利用にあたって下記の項目に同意していただけない場合は、にチェックマークをご記入ください。なお、同意いただけない場合、参加受付ができない場合がございます。予めご了承ください。 下記内容に同意しない

◆個人情報保護方針

ご記入いただいた個人情報につきましては、当協会が責任を持って管理し、本大会の的確な実施のために使用するほか、当協会が実施する各種研修・セミナー・技術サービスや各労働基準協会（連合会）への情報提供に使用することがあります。

◆キャンセルについて

※お申し込み後、取消し（減員）をされる場合は、サービスの利用の有無に関わらず、下記の取消料、返金手数料が発生いたします。取消し、または人数変更を希望される場合は、申込者マイページからお手続きください。

お申出期間	キャンセル料	返金手数料
～8月20日(木) 終日	なし	ご負担願います
8月21日(金)～9月14日(月) 終日	参加費の80%	ご負担願います
9月15日(火)～	参加費の100%	

◆開催内容の変更・中止の取り扱い

- 大会が開催される土地・建物が入場に不相当となった場合、または災害・天災・感染症の拡大等不可抗力原因により開催が妨害された場合は、早期閉会・規模縮小・会場の移転等、開催内容を変更、または中止することがあります。
- (1)に基づき中止を決定した場合、参加費の取り扱いは下記のとおりです。
 - 令和8年8月21日(金)～9月14日(月) ⇒ 参加費の20%返金いたします(別途、返金手数料が発生いたします。)
 - 令和8年9月15日(火) ⇒ 返金いたしません。

◆禁止事項

- 講演・研究発表・特別報告で提供する動画、パワーポイント等の録画・撮影・録音は禁止いたします。
- 本サービスは大会参加者個人に提供されるものであり、複数名での共同での保有、複数名でのサービスのご利用等、サービスの不正な利用は固く禁じさせていただきます。
- アカウントを第三者に譲渡することはできません。

■申込・お問い合わせ先 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課
〒108-0014 東京都港区芝5-35-2
TEL：03-3452-6402 FAX：03-3453-3449
e-mail：jisha-taikai@jisha.or.jp

図書販売コーナーのご案内

中災防の図書・安全衛生用品を、定価の1割引で販売いたします。ぜひこの機会に気になる商品をご覧ください。

○「中災防 図書・安全衛生用品販売 即売コーナー」

9/17、18 札幌コンベンションセンターにて

無料相談コーナーのご案内

分科会の会場にて、中災防の担当者による無料相談コーナーを設けます。お気軽にご相談ください。

○「機械安全等無料相談コーナー」

9/17、18 機械・設備等の安全分科会／DX等分科会 会場(札幌コンベンションセンター 小ホール)にて

○「ISO45001/JIS Q 45100認証取得の無料相談コーナー」

9/17、18 マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会 会場(札幌コンベンションセンター 中ホール)にて

○「高齢者対策、ストレスチェック ～50人未満実施マニュアルへの対応～ 無料相談コーナー」

9/17、18 メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会 会場(カナモトホール 大ホール)にて

第18回 OSHMS認証情報交流会のご案内

ISO45001認証、JIS Q 45100認証、JISHA方式適格OSHMS認証を取得されている事業場、認証取得を予定している事業場、認証取得に興味のある事業場の皆様のための情報交換会です。認証取得のポイント、効果的なOSHMSの運用のコツなど、皆様が抱えているお悩みや課題を解決するための機会としてぜひご活用ください。審査センター職員もご相談に応じますので、お気軽にお声がけください。皆様のご参加お待ちしております。

日 時 9月17日(木) 17:30～19:00

会 場 レストランSORA (北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 札幌コンベンションセンター)

参 加 費 無料

定 員 50名/定員となり次第締め切りとさせていただきます。

申込・問合せ 中災防 安全衛生マネジメントシステム審査センター(〒108-0023 東京都港区芝浦3-17-12 吾妻ビル9階)

TEL 03-3452-6694 FAX 03-3452-1275 E-mail jisha-ms@jisha.or.jp

詳細内容・申込は、以下の審査センターWebサイトからお願いいたします。

<https://jishams.jisha.or.jp/iso45001/consultation.html>

公益社団法人 日本保安用品協会 出版物のご案内

保護具着用管理責任者教育テキスト



2024年8月30日発行(第2版)
フルカラー A4版 203頁
定価: 2,750円(送料別、消費税込)

本書は、呼吸用保護具・保護めがね・保護手袋及び防護服に関する基礎知識と使用する際に必要な事柄を分かりやすく解説しております。

保護具着用管理責任者養成時や当該責任者が職務を行ううえで役立ちできる内容となっております。

フィットテスト実施マニュアル



2025年8月31日発行(第2版)
フルカラー A4版 52頁
定価: 1,210円(送料別、消費税込)

本書は、フィットテストの実施に向けて、フィットテストの実施者の方が理解しておかなければならない事項をまとめたものです。

フィットテストの実施にあたり考慮すべき事項をはじめとして具体的な実施方法について解説しております。



【日本保安用品協会HP】(左記QRコード)又は【中央労働災害防止協会・安全衛生図書・用品販売サイト】より購入可能です。(ただし、『フィットテスト実施マニュアル』については日本保安用品協会でのみ購入可能)



EX.®

by *Simon*

**EXCLUSIVE FIT &
EXCEPTIONAL
QUALITY**

究極の履き心地を追求した
最高品質の安全靴

EX11 ブラック

エコマーク認定製品
認定番号 25 143 001



JIS T 8101 CI/S/P1/F2/HI1/H合格



株式会社シモン

本社：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-3-1
<https://www.simon.co.jp/>

【お問い合わせ先】

弊社ホームページのお問い合わせフォームにて承っております。

下記 URL、または右の QR コードよりアクセスしてください。

※通信料はお客様の負担となります。

<https://www.simon.co.jp/contact>



タニザワのタフライトシリーズ 最軽量※1 フルハーネス

大好評
発売中

550g

「タフライト・フルハーネス」
最軽量モデル ST#522KA-N

驚異的な軽量化 強度そのまま 重さ約44%減※2!

※1 タニザワ史上最軽量 (2023年11月現在)
※2 ST#572A-N (980g) との比較

超高分子量ポリエチレン繊維
「ダイネーマ®」採用



詳しい製品情報は
当社 HP 特設サイトへ



タフライトシリーズ
マスコットキャラクター
タフライトマン



3つの
メリット

- ☆作業の安全性向上
- ☆作業効率 格段 UP!!
- ☆ラクラク持ち運び



株式会社 谷沢製作所 〒104-0041 東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル
TEL : 03-3552-5581 FAX : 03-3552-5576 E-mail : eigy@tanizawa.co.jp

www.tanizawa.co.jp

シゲマツ

創業1917年

化学物質のリスクアセスメント



呼吸用保護具



化学防護手袋



化学防護服



保護めがね



化学物質のリスクアセスメント専用お問い合わせ

化学物質ばく露防止のための個人用保護具についてはこちらからお問い合わせください



株式会社 **重松製作所**
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
www.sts-japan.com

本社
〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
TEL 03(6903)7525(代表)

NEW

Flatmet³

フラットメット

携帯型ヘルメット

Compact helmet to carry ...!



保護帽の国家検定規格

飛来・落下物用 / 墜落時保護用

Flatmet²

フラットメット

防災用ヘルメット

Flooding type helmet



保護帽の国家検定規格

飛来・落下物用

MIDORI ANZEN

YK YAMAMOTO

120th
ANNIVERSARY
SINCE 1911



安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

山本光学株式会社

セフティ&レーザー・オプト事業部



TSUYORON

墜落制止用器具の規格適合品

レヴォハーネス

裏表異なるベルトで
ねじれが一目瞭然!

着用しやすい!

新形状

腿水平型

&

新色

BKSL (黒 / 銀)

TH-508H-OT-BKSL

レヴォハーネスの特長
はそのままに、ご要望
の多かった腿ベルト水
平型を新発売!



TH-508-OT-BKSL

腿ベルト V 型に従来の
ベルト色 (黒 / 赤) に加
え、新色 BKSL (黒 / 銀)
をラインナップ!



TH-508-OT-BKR

ベルト色 (黒 / 赤)

束縛感が少なく動きやすい水平型

身体保持の安定性に優れた V 型

Safety is Love



FUJII-DENKO

<https://www.fujii-denko.co.jp>

●商品についてのお問い合わせは

TEL.0795-48-3851 (営業部)

9:00-17:00 / 月~金 (弊社指定休業日は除く)

本社 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

東京支社
仙台営業所
名古屋営業所
大阪営業所
福岡営業所

TEL.03-5821-2241
TEL.022-256-7001
TEL.052-211-7781
TEL.06-6882-3355
TEL.092-413-6110

公式サイト



Youtube



Instagram

